

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月9日

【四半期会計期間】 第47期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 リゾートトラスト株式会社

【英訳名】 RESORTTRUST, INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 伏見 有貴

【本店の所在の場所】 名古屋市中区東桜二丁目18番31号

【電話番号】 052 - 933 - 6000(大代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役 業務部門管掌 兼CCO 井内 克之

【最寄りの連絡場所】 名古屋市中区東桜二丁目18番31号

【電話番号】 052 - 933 - 6000(大代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役 業務部門管掌 兼CCO 井内 克之

【縦覧に供する場所】  
リゾートトラスト株式会社 東京本社  
(東京都渋谷区代々木四丁目36番19号 リゾートトラスト東京ビル)  
  
リゾートトラスト株式会社 大阪支社  
(大阪市北区西天満4-14-3 リゾートトラスト御堂筋ビル)  
  
リゾートトラスト株式会社 横浜支社  
(横浜市港北区新横浜3-19-1 LIVMO ライジングビル)  
  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
  
株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第1四半期 連結累計期間	第47期 第1四半期 連結累計期間	第46期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (百万円)	39,897	39,258	179,542
経常利益 (百万円)	2,394	2,557	19,528
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1,380	1,492	12,358
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	764	1,489	11,653
純資産額 (百万円)	121,817	130,998	132,050
総資産額 (百万円)	401,900	401,095	401,426
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	12.92	13.95	115.53
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	11.86	12.81	106.42
自己資本比率 (%)	29.2	31.5	31.7

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 1株当たり四半期(当期)純利益金額は、自己株式数控除後の期中平均発行済株式数に基づいて算出しております。なお、自己株式数には、信託が保有する当社株式を加算しております。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間の「計画」については、2019年5月15日付の公表数値に基づいております。

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	39,897百万円	39,258百万円	40,090百万円	1.6%	2.1%
営業利益	2,143百万円	2,442百万円	2,460百万円	+14.0%	0.7%
経常利益	2,394百万円	2,557百万円	2,470百万円	+6.8%	+3.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,380百万円	1,492百万円	1,480百万円	+8.1%	+0.9%

〔計画比〕

会員権契約高が計画比で増加した一方、ホテル稼働率やシニア向け施設の入居率が計画を下回ったことや、ホテルレストラン等事業において一部計画外の費用計上があったこと等により、売上高及び各利益において、概ね計画と同水準の実績となりました。

〔前年同期比〕

前年同期に「エクシブ六甲 サンクチュアリ・ヴィラ」開業に伴う不動産収益の一括計上があったのに対し、今期は開業がないことなどから若干の減収となりましたが、ホテル及びメディカル会員権契約高の増加などにより収益性が向上し、各利益においては増益となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や企業収益の改善が持続し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、通商問題が世界経済に与える影響が懸念されるなど先行き不透明な状況であります。

このような状況下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の状況は、2019年3月に開業した「ラグーナベイコート倶楽部」のホテル運営収益が業績貢献したほか、メディカル事業、シニアライフ事業が成長を続けていること、収益性の高い既存物件を中心にホテル会員権販売が好調に推移したことなどにより、売上高は39,258百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は2,442百万円（前年同期比14.0%増）、経常利益は2,557百万円（前年同期比6.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,492百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（会員権事業）

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	12,431百万円	10,431百万円	9,540百万円	16.1%	+9.3%
セグメント利益	2,942百万円	3,278百万円	3,050百万円	+11.4%	+7.5%

会員権事業におきましては、前連結累計期間では新規ホテルの開業に伴う不動産収益の一括計上がありました。当連結累計期間には新規開業が無いというマイナス要因があった一方で、既存物件を中心にホテル会員権の販売が好調に推移したことなどにより減収増益となりました。

(ホテルレストラン等事業)

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	19,271百万円	19,917百万円	21,350百万円	+3.4%	6.7%
セグメント利益	305百万円	12百万円	210百万円	95.8%	93.9%

ホテルレストラン等事業におきましては、2019年3月に開業した「ラグーナベイコート倶楽部」のホテル運営収益が寄与しましたが、一般ホテル開業に向けた開業関連費用や、更なるIT・テクノロジー活用による生産性の向上、有休取得義務化を含めた休日数増加など多様な働き方の推進等の先行費用が増加したこと、施設修繕や減価償却費等の費用が増加したことなどにより増収減益となりました。

(メディカル事業)

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	8,025百万円	8,744百万円	9,050百万円	+9.0%	3.4%
セグメント利益	1,068百万円	1,206百万円	1,300百万円	+12.9%	7.2%

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員増加に伴う年会費収入等の増加のほか、シニアレジデンスの運営や、健診事業等が拡大したことなどにより増収増益となりました。

(その他)

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	169百万円	164百万円	150百万円	2.7%	+9.7%
セグメント利益	61百万円	75百万円	70百万円	+22.7%	+8.0%

その他におきましては、連結子会社であるアール・ティー開発㈱において賃貸物件が減少したことに伴い、オフィスビルの賃貸料収入が減少した一方で、固定資産税、減価償却費等の費用が減少したことなどにより減収増益となりました。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は401,095百万円(前連結会計年度比0.1%の減少)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が2,291百万円増加した一方で、販売用不動産が2,958百万円、投資有価証券が602百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は270,096百万円(前連結会計年度比0.3%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、未払金が9,564百万円減少した一方で、短期借入金が9,492百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は130,998百万円(前連結会計年度比0.8%の減少)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が999百万円減少したことなどによるものであります。その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は31.5%となりました。

(2) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当第1四半期連結累計期間における資本の財源および資金の流動性の重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は30百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

わが国における今後の経済情勢につきましては、国内景気は緩やかな回復基調が続くとみられるものの、国内外の政治情勢には、様々な懸念材料があり、引き続き不透明な経営環境となることが予想されます。

観光産業の動向においては、「ラグビーワールドカップ2019日本大会」をはじめ「2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会」など大規模イベント開催やインパウンドの拡大に向け、国内観光の環境整備が推進されることで、ビジネス機会は増大し、市場拡大が見込まれます。一方で、少子高齢化、労働人口減少による人材不足は喫緊の課題であり、観光産業の基幹産業化のために、女性や高齢者の活躍、外国人労働者受入れのほか、様々な観光政策が推進されております。

このような環境に即し、当社グループは、2018年4月～2023年3月の5年間を対象とした、中期経営計画「Connect 50 ~ご一緒します、いい人生~」を策定し、実行しております。

本中期経営計画においては、各事業で築き上げた「唯一無二のブランド」をしっかりと守りつつ、グループのシナジー効果を最大限に発揮することでより強固でハイグレードなグループブランドを実現する「グループ経営」を基盤として、お客様がより良い人生を健康で楽しく、より長く過ごせるよう寄り添い、「一生涯」を通じてお付き合いしていただけるグループになることを目指しております。その達成に向けた重点施策として、経営理念を体現し、お客様へ最適な提案が行える「ブランド社員」の育成を目指す教育・研修投資や、お客様と向き合う時間を増やし、社員がイキイキと楽しく働ける環境を構築することで、生産性の向上を目指す「働き方改革」へ向けたデジタル化投資を積極的に行ってまいります。これからも、グループの強みである「会員制らしさ」や、お客様とのつながりを活かしたテラーメイドな高付加価値サービスなど、これまで培ったノウハウをベースとして、「旅行」「健康」分野のマーケットに広がる事業機会を好機と捉え、更なる付加価値を創出し続けるとともに、より積極的に展開してまいります。リゾートトラストグループは、創立50周年の節目に向かって、より一層、グループの力を結集して取り組みながら、「環境・社会・ガバナンス」において社会的責任を果たし、持続的な成長を目指した経営を続けてまいります所存です。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当社は、2019年1月16日開催の取締役会において、当社の100%子会社であるトラストガーデン株式会社が株式会社シニアライフカンパニーの全株式を取得して子会社化することを決議し、2019年5月8日に株式譲渡契約を締結いたしました。

## 第3 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	150,000,000
計	150,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日 現在発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	108,520,799	108,520,799	東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 であります。
計	108,520,799	108,520,799	-	-

(注) 提出日現在発行数には、2019年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

#### (2) 【新株予約権等の状況】

##### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

##### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年6月30日		108,520		19,590		19,238

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年3月31日現在			
区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,493,000	13,392	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 106,845,800	1,068,458	-
単元未満株式	普通株式 181,999	-	-
発行済株式総数	108,520,799	-	-
総株主の議決権	-	1,081,850	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」及び「単元未満株式」の欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式がそれぞれ4,600株(議決権46個)及び40株含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式10株が含まれております。

【自己株式等】

2019年3月31日現在					
所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) リゾートトラスト株式会社	名古屋市中区東桜二丁目18 番31号	153,800	1,339,200	1,493,000	1.38
計	-	153,800	1,339,200	1,493,000	1.38

(注) 他人名義で所有している理由等

ESOP「株式給付信託(従業員持株会発展型プラン・株式給付型プラン・業績連動型プラン)」及び株式給付信託(BBT)の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)(東京都中央区晴海1丁目8-12)が所有しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	26,742	29,033
受取手形及び売掛金	2 8,891	2 8,421
営業貸付金	46,623	47,626
有価証券	4,647	4,224
商品	1,082	1,077
販売用不動産	30,049	27,091
原材料及び貯蔵品	1,429	1,432
仕掛販売用不動産	11,845	12,035
その他	5,380	6,845
貸倒引当金	937	1,020
<b>流動資産合計</b>	<b>135,754</b>	<b>136,768</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	101,777	101,697
機械装置及び運搬具（純額）	2,889	2,780
コース勘定	7,591	7,591
土地	38,649	38,759
リース資産（純額）	6,227	6,055
建設仮勘定	17,920	18,123
その他（純額）	4,945	4,558
<b>有形固定資産合計</b>	<b>180,001</b>	<b>179,566</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	3,637	3,490
ソフトウェア	4,534	5,084
その他	3,634	2,990
<b>無形固定資産合計</b>	<b>11,806</b>	<b>11,566</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	43,599	42,997
関係会社株式	1,313	1,319
長期貸付金	6,120	6,065
退職給付に係る資産	725	692
繰延税金資産	8,234	7,878
その他	14,624	14,879
貸倒引当金	755	638
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>73,862</b>	<b>73,194</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>265,671</b>	<b>264,326</b>
<b>資産合計</b>	<b>401,426</b>	<b>401,095</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,471	1,241
短期借入金	5,000	14,492
1年内返済予定の長期借入金	1,839	1,814
1年内償還予定の社債	250	250
リース債務	875	874
未払金	22,389	12,825
未払法人税等	3,608	564
未払消費税等	997	1,584
前受金	12,209	13,857
前受収益	14,327	16,912
債務保証損失引当金	63	52
その他	7,731	11,542
<b>流動負債合計</b>	<b>70,764</b>	<b>76,011</b>
<b>固定負債</b>		
社債	450	450
新株予約権付社債	29,813	29,802
長期借入金	39,123	38,713
リース債務	5,806	5,621
繰延税金負債	638	696
役員退職慰労引当金	2,133	2,020
株式給付引当金	1,697	1,762
退職給付に係る負債	1,959	2,005
長期預り保証金	32,757	32,507
償却型長期預り保証金	68,838	65,175
その他	15,392	15,330
<b>固定負債合計</b>	<b>198,611</b>	<b>194,084</b>
<b>負債合計</b>	<b>269,375</b>	<b>270,096</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	22,192	22,192
利益剰余金	86,144	85,144
自己株式	1,852	1,844
<b>株主資本合計</b>	<b>126,074</b>	<b>125,082</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	821	447
為替換算調整勘定	858	1,169
退職給付に係る調整累計額	323	299
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>1,355</b>	<b>1,316</b>
新株予約権	292	308
非支配株主持分	4,326	4,291
<b>純資産合計</b>	<b>132,050</b>	<b>130,998</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>401,426</b>	<b>401,095</b>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	39,897	39,258
売上原価	8,278	6,165
売上総利益	31,619	33,093
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	11,233	11,648
役員退職慰労引当金繰入額	131	18
修繕維持費	836	1,053
貸倒引当金繰入額	65	85
水道光熱費	1,225	1,370
減価償却費	2,025	2,306
その他	13,959	14,168
販売費及び一般管理費合計	29,476	30,650
営業利益	2,143	2,442
営業外収益		
受取利息	450	328
受取配当金	3	2
負ののれん償却額	30	-
持分法による投資利益	5	5
為替差益	11	-
貸倒引当金戻入額	54	118
債務保証損失引当金戻入額	-	11
その他	61	42
営業外収益合計	617	509
営業外費用		
支払利息及び社債利息	164	111
債務保証損失引当金繰入額	44	-
前受金保証料	7	5
控除対象外消費税等	124	142
為替差損	-	110
その他	24	24
営業外費用合計	365	393
経常利益	2,394	2,557

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	63	-
投資有価証券売却益	311	2
関係会社株式売却益	4	-
その他	6	-
特別利益合計	385	2
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	2	1
減損損失	104	-
投資有価証券売却損	302	-
役員退職慰労金	40	30
その他	23	0
特別損失合計	473	32
税金等調整前四半期純利益	2,307	2,528
法人税、住民税及び事業税	413	430
法人税等調整額	431	568
法人税等合計	845	999
四半期純利益	1,461	1,528
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	35
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,380	1,492

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	1,461	1,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	132	373
為替換算調整勘定	2,092	310
退職給付に係る調整額	1	23
その他の包括利益合計	2,225	39
四半期包括利益	764	1,489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	845	1,453
非支配株主に係る四半期包括利益	80	35

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

会員等の金融機関とのローン契約に対して、次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
エクシブ会員	10,201百万円	エクシブ会員	9,517百万円
ベイコート倶楽部会員	13,301百万円	ベイコート倶楽部会員	9,874百万円
サンメンバーズフレックス会員	0百万円	サンメンバーズフレックス会員	0百万円
ハイメディック会員	762百万円	ハイメディック会員	4,044百万円
ゴルフ会員	85百万円	ゴルフ会員	175百万円
クルーザークラブ会員	20百万円	クルーザークラブ会員	18百万円
計	24,372百万円	計	23,629百万円

上記のほか、連結会社以外の会社の債務に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
リース債務	47百万円	リース債務	52百万円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	1百万円	1百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	2,302百万円	2,575百万円
のれん及び負ののれん償却額	123百万円	146百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	2,492	23.00	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

(注) 2018年6月28日定時株主総会決議による配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金34百万円が含まれております。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	2,492	23.00	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(注) 2019年6月27日定時株主総会決議による配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金30百万円が含まれております。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,431	19,271	8,025	39,728	169	39,897
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	642	32	677	189	866
計	12,433	19,914	8,057	40,405	358	40,764
セグメント利益	2,942	305	1,068	4,316	61	4,377

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,316
「その他」の区分の利益	61
全社費用(注)	2,234
四半期連結損益計算書の営業利益	2,143

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ホテルレストラン等事業」セグメントにおいて、施設の閉鎖等に伴い、第1四半期連結累計期間に104百万円の減損損失を計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,431	19,917	8,744	39,093	164	39,258
セグメント間の 内部売上高又は振替高	10	516	60	587	363	950
計	10,442	20,434	8,805	39,681	527	40,209
セグメント利益	3,278	12	1,206	4,497	75	4,573

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,497
「その他」の区分の利益	75
全社費用(注)	2,130
四半期連結損益計算書の営業利益	2,442

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	12円92銭	13円95銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	1,380	1,492
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	1,380	1,492
普通株式の期中平均株式数(千株)	106,873	107,030
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	11円86銭	12円81銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益調整額(百万円)	7	7
(うち社債発行差金の償却額等 (税額相当額控除後)(百万円)) (注1)	(7)	(7)
普通株式増加数(千株)	8,884	8,884
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜 在株式で、前連結会計年度末から重要な変動が あったものの概要		

- (注) 1 社債額面金額よりも高い価額で発行したことによる当該差額に係る当期償却額及び償還差額(税額相当額控除後)であります。
- 2 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
- 1株当たり四半期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前第1四半期連結累計期間1,493,552株、当第1四半期連結累計期間1,336,109株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月8日

リゾートトラスト株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	楠	元	宏
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	近	藤	繁 紀

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリゾートトラスト株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、リゾートトラスト株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。